

D-04

電波をつなげるEVリレー ～電気自動車の力で通信インフラを支える～

着目した世の中の課題

近年、日本では多くの災害が発生していますが、災害時にも基地局の電力を確保し、通信インフラを維持することは、人々の生活を支えるために重要な社会的責任がある取り組みです。そこで普及が見込まれる電気自動車(EV)を災害対策に活用できないか、という課題に着目しました。

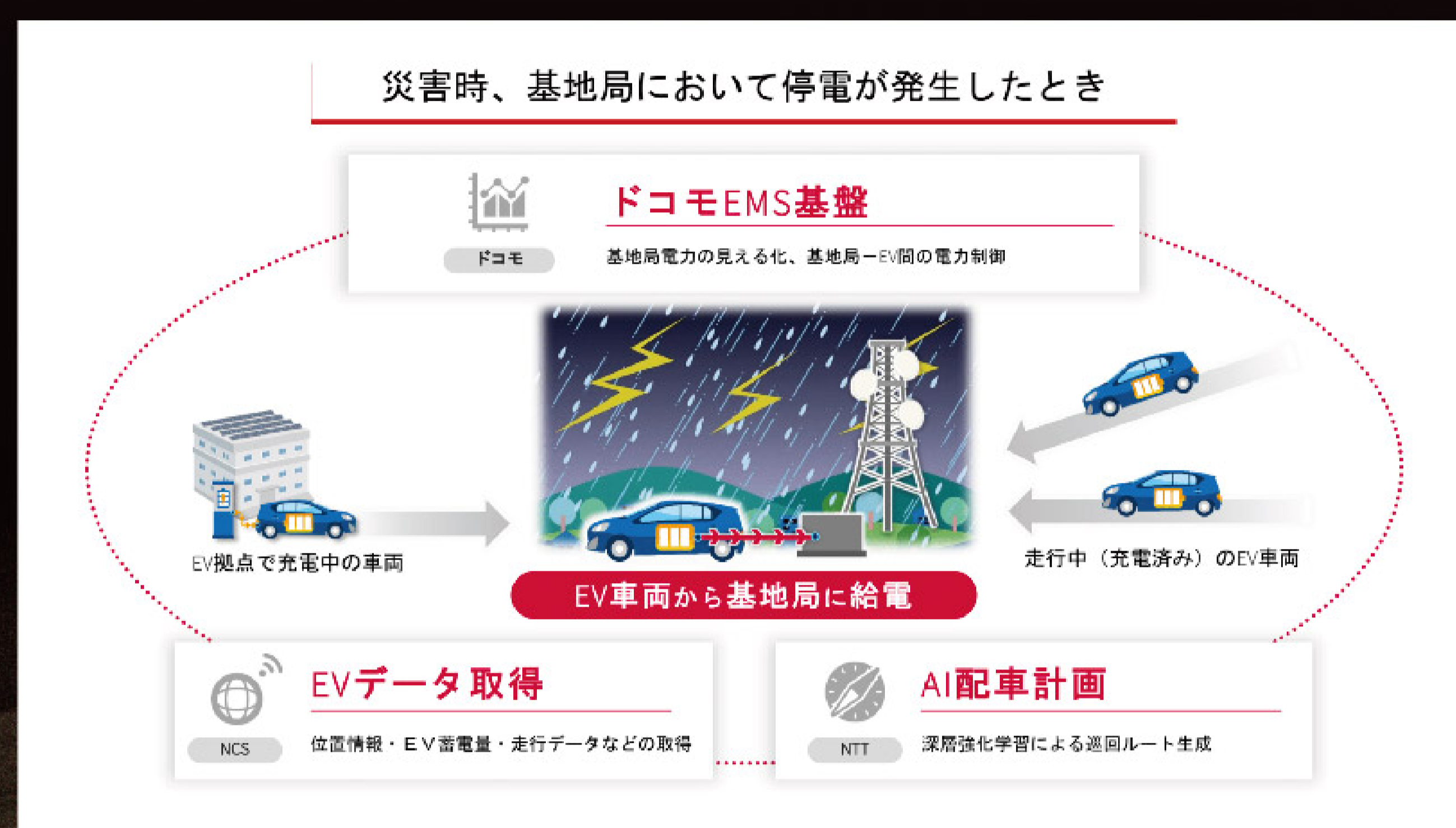
解決となる取り組み

概要

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)と日本電信電話株式会社(以下、NTT)と日本カーソリューションズ株式会社(以下、NCS)の3社は、停電を伴う災害対策強化として、電気自動車を活用した基地局電源救済システムの研究開発について取り組んでいます。

取り組みを支える技術

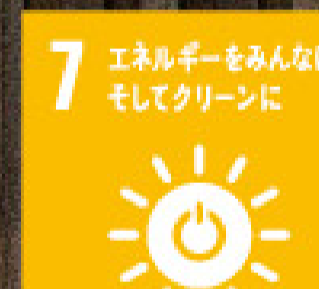
ドコモが開発する基地局電力の監視制御を担うエネルギー・マネジメント・システム基盤(EMS基盤)と、NTTが研究開発を進める深層強化学習による巡回ルート生成技術で開発されたAI配車計画と、NCSが提供するEVデータにより、最適なEVを基地局へ派遣し電力を供給します。



共創
パートナー

日本電信電話株式会社 / 日本カーソリューションズ株式会社

SDGs



普段は乗用車として活用しているEVを、
災害時には停電が見込まれる基地局の電力源として活用し
通信インフラを確保することにより、
人々の生活基盤を支え社会に貢献します。

自治体と連携した避難所の電力供給など社外への適用もめざします。